

施策番号	1804		
施策名	新しい学習環境づくり		
概要	老朽化した学校施設の機能改善の際、環境やバリアフリーに配慮し、子どもが安心して快適に過ごせる学習環境を整備するとともに、自然とふれあえる野外活動の充実を図る。		
担当局・部室	教育委員会・総務部、教育環境整備室	共管局・部室	
上位政策	18 学校教育		
施策に関する 主な分野別計画等			

施策の評価

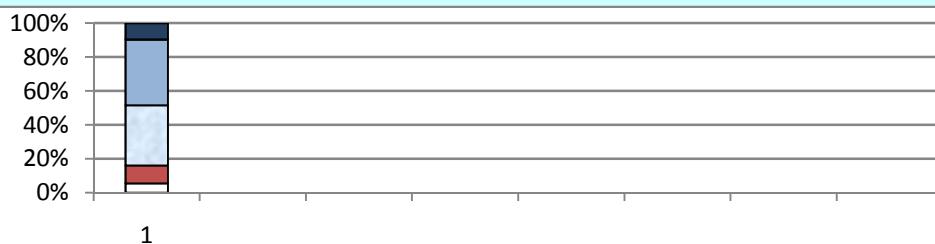
1 客観指標評価

指標名		年度	年度	23年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1	エコ改修・バリアフリー等新しい学習環境づくりのための施設整備を行った件数(件)	-	-	-	-	-	-	-	
2	太陽光・風力発電システムや校舎断熱等の整備件数(件)	-	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
				客観指標総合評価				-	

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		23年度回答					有効回答 者数	評価
		そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう思わ ない	そう思わ ない		
1	安全快適な学校施設や最新の設備など、充実した教育環境が整っている。	52 9.6%	210 38.8%	192 35.5%	57 10.5%	30 5.5%	541	b
2	-							-
3	-							-
4	-							-
5	-							-
		市民生活実感調査総合評価						b



- そう思う
- どちらかと言うとそう思う
- どちらとも言えない
- どちらかと言うとそう思わない
- そう思わない

3 総合評価(客観指標総合評価＋市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている					
	重み付け	☒ 客観指標	-	☐ 市民の実感	b	
(重み付けの理由) 市立学校施設整備という対象が限られた施策であり、市民の生活実感に施策の効果がすぐには反映されにくい性質があるため客観指標を重視する。						年度 -
(原因分析) ・23年度からの新規事業であり、客観指標評価が次年度からしか実施できない。 ・これまでから、普通教室の冷房化や全校での校内LANの整備など教育環境の整備に努めてきたことから、市民実感評価がb評価となっている。						年度 -

今後の方向性の検討

＜この施策を構成する事務事業＞

	事業名	事業費の状況(千円)		23年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		22年度 決算額	23年度 予算額		
1	私立幼稚園等助成	394,069	413,895	良い	教育委員会
2	学校コンピュータ環境整備	579,799	581,731	かなり良い	教育委員会
3	学校等施設整備費	11,646,282	10,821,808	-	教育委員会
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

＜今後の方向性＞

・学校施設の整備に向けて必要性・緊急性に応じて事業を進める。

施策名	1804	新しい学習環境づくり				
-----	------	------------	--	--	--	--

指標名	エコ改修・バリアフリー等新しい学習環境づくりのための施設整備を行った件数（件）					
-----	---	--	--	--	--	--

担当課	教育環境整備室	連絡先	2 2 2 - 3 7 9 1			
-----	---------	-----	-----------------	--	--	--

1 指標の説明

新たな学習環境づくりのために、過去に建築した建物について、エネルギー効率やバリアフリーの観点から整備を行った件数

2 指標の意味

省エネに配慮し、利用しやすい学校づくりの取組状況を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：改修実績数を計上
出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	21年度	22年度		数値	根拠	達成度
数値	-	-	-	(7件)	平成32年度までに80件の整備を行うために、毎年度、達成すべき数値。	-

	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値		80	32年度			23年度から新たに実施する取組であるため、評価は次年度から行う。

5 評価基準

目標値に対する達成割合
a:～7件以上
b:6件～5件
c:4件～3件
d:2件～1件
e:0件

6 基準説明

目標値以上の達成件数をa評価とし2件刻みで基準を設定した。

7 評価結果

		23
-	-	-

1 指標の説明

緑のカーテン、風力発電、太陽光発電、校庭芝生化、校舎断熱、節水型トイレのうちいずれかの環境教育に活用できる施設改修を行った件数

2 指標の意味

学びの場であり地域の拠点である学校に環境に配慮した施設を整備し、これらを通じて子どもたちや地域住民の環境への関心を高める取組を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：学校への設置状況調査
出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	年度	年度		数値	根拠	達成度
数値	-	-	-	(7件)	平成32年度までに80件の整備を行うために、毎年度、達成すべき数値。	-

	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値		80	32年度			23年度から新たに実施する取組であるため、評価は次年度から行う。

5 評価基準

年間整備件数
a:～7件以上
b:6件～5件
c:4件～3件
d:2件～1件
e:0件

6 基準説明

目標値達成件数をa評価とし2件刻みで基準を設定した。

7 評価結果

		23
-	-	-